

カーテン取り扱い説明書

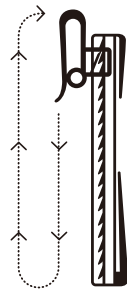
カーテンをご使用頂くために下記の点に注意し、ご使用下さい。

お取り扱いご注意

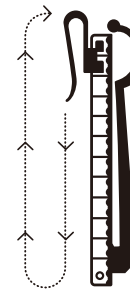
- カーテンに火気を近づけないでください。防災カーテンはもえないものではありません。
- カーテンの汚れの原因は空気中のホコリ(特にヒダ山など)、たばこのヤニ、料理中に発生する煙などがあります。時間がたつほど落ちにくくなります。日頃からハタキやブラシなどでこまめに取り除くことをおすすめします。また適度な洗濯も必要です。
- 結露水にカーテンが触れないようにご注意ください。カビの発生や汚れの原因になります。
- お子様がカーテンで遊んだり、ぶら下がらないようご注意ください。
- 強風、雨などの時には、カーテンの「房掛け」に止めるか、窓を閉めてください。
- 洗濯絵表示でアイロン掛けが可能な場合、生地の風合いを損なわないためにあて布を使用してください。

アジャストフックでカーテン丈が調節できます。

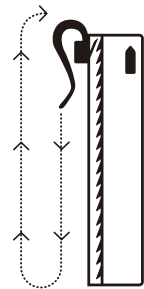
- カーテン生地は伸縮があります。伸縮が生じた際、スライダー部分を移動させて、丈の調節をしてください。
- スライダーは下方向のみ移動します。
上方向の位置に移動したい場合、一度下から取り外し、改めて上部よりフックをはめてください。



スライダー部分が上下に移動します。



スライダー部分が上下に移動します。



スライダー部分が上下に移動します。

商品の特性について

- 伸縮** ———— 高温多湿環境の条件が伸縮に最も影響を与えますのでご注意ください。
また素材の特性により推奨した洗濯方法を行った場合でも伸縮する場合がございます。
天然繊維や再生繊維の特徴でありますのでご了承ください。
- たたみじわ** — 梱包の際のたたみじわは、レールに掛け吊っていただくことで、時間とともに自然にとれていきます。
- 糸むら・風合い** 天然繊維の綿や麻の場合、糸目に節状のものが見られる場合がございます。
天然素材の特徴であり、製造上の不良ではございません。
- 濃淡差** ———— 同じ色柄の商品でも製造時期ごとにサンプルと実際の商品に濃淡差が生じる場合がございます。
- 色あせ** ———— 長期間直射日光を受けますと多少日焼けによる退色現象が起こります。
- におい** ———— 天然繊維や染色の方法により特有のにおいがする場合がございますが人体への影響はございません。
気になる場合はお部屋の換気をしていただけると解消されます。

お手入れについて

定期的なクリーニングをおすすめいたします。

室内環境により異なりますが、定期的なクリーニングを行うことで、製品品質がより長く保たれます。
取り付け環境により異なりますが、レースカーテンは年に2〜3回、ドレープカーテンは年に1回をお勧め致します。

日常のお手入れ

ホコリ(特にヒダ山など)、たばこのヤニ、料理中に発生する煙などは
日頃からハタキやブラシなどで取り除くよう心掛けてください。
また、結露や雨などが付着した場合は、濡れているうちに乾いた布で水分を吸い取るようにしてください。
乾いてしまうとシミが残る場合がございますのでご注意ください。

洗濯される場合

ご家庭で洗濯される場合の注意

必ず洗濯ラベルの絵表示で、洗い方を確認してください。

カーテンの上部に付いているフック部分のツメを全てはずしてほこりを払い、シワにならないようにたたんでください。

ウォッシュابل商品はご家庭の洗濯機で丸洗いができますが、下記の点につきましてご注意ください。

手洗いの場合はもみ洗いは避け、押し洗いをしてください。その他は洗濯機を使用する場合と同様の注意をお願い致します。

- ・フックなどは必ず取りはずしてから洗濯してください。
- ・大きめの洗濯ネットをご利用いただき、「弱水流」に設定して下さい。
- ・水温は40℃以下にしてください。
- ・脱水は適度にたたんで軽くかけてください。タイマーで30～60秒程度が適当です。
- ・乾燥機は絶対に使用しないでください。縮み等の原因になります。
- ・日陰で吊り干しをしてください。
- ・生乾きのまま長時間放置するとカビの原因になりますのでご注意ください。

クリーニング店に出される場合の注意

必ず洗濯ラベルの絵表示で、洗い方を確認してください。

通常のドライクリーニング(パークロールエチレン)は、色落ちの原因となることがありますのでご注意ください。

クリーニング店に出される際は、寸法と絵表示について双方で確認してください。

また、必ずフックを取りはずしてください。そのままクリーニングに出されますと、紛失や破損の原因となります。

表示記号の見方

洗濯処理



液温は40℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる



液温は40℃を限度とし、手洗いができる



家庭での洗濯禁止

漂白処理



塩素系及び酸素系漂白剤の使用禁止

自然乾燥



日陰のつり干しがよい

アイロン仕上げ



底面温度150℃を限度としてアイロン仕上げができる



底面温度110℃を限度としてアイロン仕上げができる



アイロン仕上げ禁止

タンブル乾燥



タンブル乾燥禁止

ウェットクリーニング



弱い操作によるウェットクリーニングができる



非常に弱い操作によるウェットクリーニングができる



ウェットクリーニング禁止

ドライクリーニング



石油系溶剤による弱いドライクリーニングができる



ドライクリーニング禁止